

鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	地域福祉部会	会議名	第 6 回会議		
日付	2023/11/17	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	平野
<主な内容>					
1.部会長より					
市民集会は要援護者をテーマに行います。					
12月はお休みで、次回は1月19日になります。					
2. 「高齢者への思いやり」～高齢者の疑似体験～					
インスタントシニア体験					
・こういった状況の方を見つけた際にどのような対応をしたら良いか考える機会にしてもらいたい。					
・色の使い方によっても見え方が違う。チラシや文章を作成する際の参考にしてもらいたい。					
○感想、質疑応答					
・階段は下りが大変。					
・見えにくさ、動きにくさに加え、耳の聞こえずらさが加わると大変。補聴器を付けているからと大きな声で話すとかえって聞き取りにくくなる場合もある。					
・車イス、目が見えない方の誘導体験も社協では行っている所以活用してもらえると良い。					
・階段で誘導してもらった際、「あと何段です。」と言ってもらえたのは分かりやすかった。					
・今回は分かっている場所を移動したので、動きやすかったが、初めての場所や信号などでは躊躇してしまう可能性があるため、そのような方を見かけた際には「一緒にどうですか？」と声をかけるも大事。					
・はし先が見えなかったため道具を工夫する必要があると思った。					
・誰かに支えてもらう安心感があった。					
・良い体験ができたので、いかして介助していけると良い。					
・とっさの判断が必要な時に動けないと思った。目の情報が入りにくい状況にある。					
・ボランティアセンターでも同様の研修をしたい。					
・会合等に参加できない状況にある人をどうしたら発見できるのか？→他市では隣近所で見守りをする見守りネットワークを作っているところもある。					
・小豆をつかみにくいという体験から小銭をつかみにくい人の気持ちが理解できた。					
・視覚に関する意見が多くでいたので、視覚障害に関する講話を聴く機会を持ってもらっても良いのではないか。					
・自身が骨折したことにより前かがみがしづらくなり、自動販売機で購入したものが取りにくいという体験をした。視覚障害のある兄と歩く時は普段は兄が肩に手をのせるかたちで誘導しているが、階段など場所によって自分でつかむ場所を変えているため介助者がつかむという考えより、本人がつかみやすい場所をつかんでもらえば良いと思う。					
<次回の予定・内容>					
交通安全教室					
<その他>					
欠席者：浜之郷福祉世話人、はしぐい子ども会、しおかぜ子ども会、ホームタウン福祉世話人、鶴中保護者と教職員の会、円童豆の会、円小青少年推進協、郷小青少年推進協、矢畑真寿会、西久保第一壽恵広会、					